

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム VOL.26 2013年 5月号  
 文責：大津 陽子 編集：小木曾 理佐

皆さんこんにちは。5 月末号を担当しますがん性疼痛看護認定看護師の大津です。

先日がん相談支援センター相談員基礎研修に参加しました。その中で強調されていた事ががん患者さんの就労支援です。平成 24 年 6 月に閣議決定されたがん対策推進基本計画の中にも目標として記されています。

患者さんは診断を受けてから治療費も必要ですし、家庭を支えていたり、社会で仕事を任されている現状があります。そんな就労に対する相談に社会保険労務士の方々の活躍も今後期待されています。また厚生労働省「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」より作成された「診断されたらはじめに見るがんと仕事の Q&A」という冊子があります。http://www.cancer-work.jp/よりダウンロードできます。この冊子は就労に対する悩みやと助言が Q&A 方式でわかりやすく記入されています。

今回の研修に参加した事で、患者さんの就労に関する問題への理解が深まり、少し視野が広がったように思います。この経験を活かし、今回学んだ就労の問題を含めより患者さんの悩みを多角的に理解し、それぞれの専門分野の方々と協働しより患者さんの生活に添ったケアを行っていききたいです。



## 第 1 回緩和ケア講演会を行いました。

5月16日(木)に平成 25 年第 1 回緩和ケア講演会を行いました。今回は口腔ケアの重要性について、当院口腔外科佐藤先生と摂食・嚥下障害認定看護師の二村先生、そして訪問歯科衛生士の栗木先生にワークショップ形式でお話していただきました。在宅での口腔ケアについては、院内職員はあまり理解が少なかったため、皆さん非常に興味深く聴講し、質問も多く出ました。質問とそれに対する回答については「第 1 回緩和ケア講演会のご報告」にまとめました。

来月は市民公開講座を予定しています。当日参加もかまいません(大ホールなので多数ご来場いただけます)ので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



## 6月の勉強会予定

### 緩和ケア市民公開講座

日時: 6 月 29 日 14 時～16 時(開場: 13 時)

講師: カール・ベッカー氏(京都大学 こころの未来研究センター教授)

場所: 多治見市文化会館 大ホール

—お問い合わせ・お申込み—

岐阜県立多治見病院 地域医療連携センター

TEL: 0572-22-5311 FAX: 0572-25-1246

MAIL: kanwa@tajimi-hospital.jp

平成 25 年度 岐阜県立多治見病院 緩和ケア市民公開講座  
**今を大切に生きる**  
 ～理想の終焉を見つめて～  
 日時 平成 25 年 6 月 29 日 土  
 14 時～16 時 (開場 13 時)  
 講師 カール・ベッカー氏  
 (京都大学 こころの未来研究センター教授)

「カール・ベッカー (Carl Becker) プロフィール」  
 1917 年アメリカ生まれ。1942 年帰国。1961 年日本大学大学院で社会学博士号を取得。日本大学名誉教授を拝受。経営管理、自動車工学、インフォームド・コンセント、ホスピス、エンディングケア等に関する講演、執筆。現在独立した企業経営コンサルタント。著書「終末期ケア」(1985 年)、アジリティー・書「1986 年」(厚生労働省研究費助成)、「生きる意味」としての人生論 (2011 年)、長年読者、後継者

会場案内 多治見市文化会館 大ホール  
 〒507-0098 多治見市十九丁目 2-8  
 TEL.05722228-2600

駐車場案内 17 台(無料)  
 入場 無料

参加ご希望の方は電話又は FAX・メールにてお申し込みください。  
 FAX: 0572-25-1246(代表) TEL: 0572-22-5311(代表) FAX: 0572-25-1246(代表)  
 地域医療連携センター 岐阜県立多治見病院 地域医療連携センター  
 〒507-8522 多治見市南郷町 5-161  
 TEL: (0572) 22-5311(代表) FAX: (0572) 25-1246(代表)  
 MAIL: kanwa@tajimi-hospital.jp